本書の構成

ご注意

本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。※設定が変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。また、本書内の画面は実際の画面表示とは異なります。あらかじめご了承のうえ、操作の目安としてご利用ください。

※ ただし、操作用暗証番号、管理者用暗証番号が登録された状態を前提としています。

本機をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通操作	2
本機の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	テレビ	6
	カメラ／静止画編集	7
	メディアプレイヤー／S!アプリ	8
本機で利用できるその他の便利なツールやサービスについて説明しています。	カレンダー／ツール	9
	ニュース／エンタメ	10
本機のセキュリティを強化する機能について説明しています。	セキュリティ	11
本機に保存されるデータ、データの管理方法について説明しています。	データフォルダ／メモリカード	12
データ通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。	通信／バックアップ	13
本機の表示や音、ネットワークなどの設定について説明しています。	共通設定	14
本機についての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	15

機能の探しかた P.ii

本書の見かた P.iv

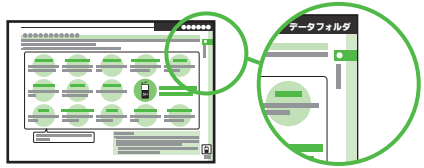
目次／付属品 P.vi

パラパラめくって探す

本機でできることを見つけましょう。

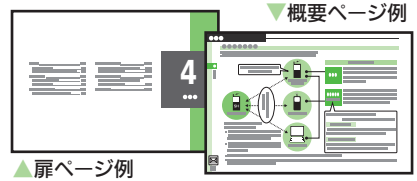
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端には機能やサービス名などを記載しています。気になる言葉を探しましょう。



●項目の開始ページでは、上の例のように大きく機能やサービス名などを記載しています。以降のページでは小さく記載しています。

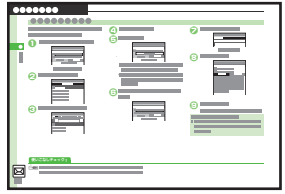
章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



●章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください。（一部ない章もあります。）

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

●基本操作パターン



機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章の前半にあります。

●応用操作パターン

機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

●設定操作パターン

全般的な設定を説明しているページです。「**共通設定**」の章にあります。

●上記パターンのほか、各機能やサービスで動作がおかしいときなどに確認する「**こんなときは**」が各章末にあります。（一部ない章もあります。）

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

●「**目次**」には、ページ端の機能やサービス名が記載されています。また、各章の扉ページに入っている「**章目次**」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的で引ける２つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。

●用語があいうえお順に並んでいる「**用語索引**」と、「**閲覧する**」「**保存する**」などの目的別にまとめた「**目的別索引**」を「**資料／付録**」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

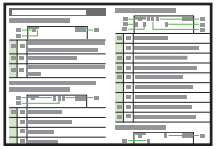
いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「メニュー一覧」がおすすめです。

●「**資料／付録**」の章の「**メニュー一覧**」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここから説明ページが確認できます。

画面に表示されるマークの意味を知りたいときは、「マークの見かた」をご覧ください。



●「**準備／基礎知識**」の章にある「**画面とマークの見かた**」には、画面に表示されるマークの意味をまとめた「**マークの見かた**」の項目があります。知らないマークが表示されたときに確認しましょう。

表示やマークの意味を探す

気になる項目やマークを調べましょう。

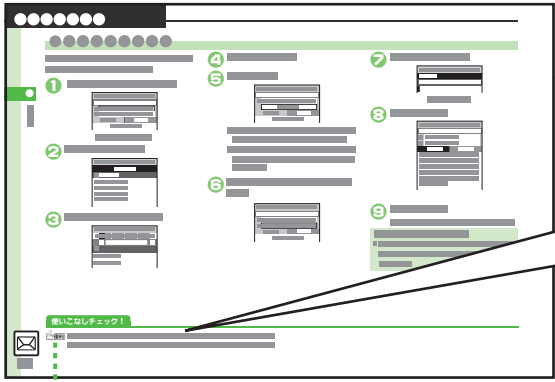
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の見かた P.iv

目次／付属品 P.vi

基本操作

各機能の基本操作を画面を中心にやさしく説明しています。



くわしい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「仕様」をご覧ください。文字数や件数、時間など、詳細な仕様を確認できます。

「使いこなしチェック！」を活用しましょう

このページで説明している機能に関するおもな応用操作を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

応用操作

各機能の応用操作をボタン操作を中心に簡単に説明しています。

共通操作

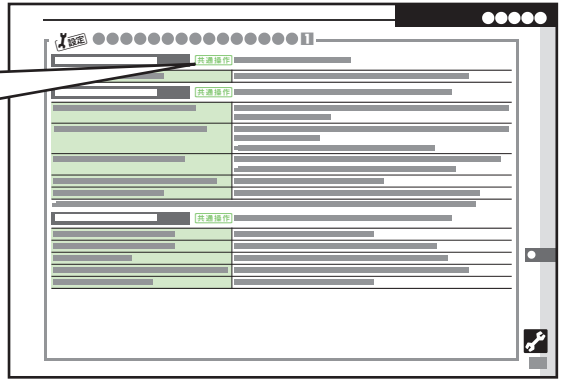
あとに続くサブタイトルの操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けてサブタイトルの操作を行ってください。

便利 **この機能のいろいろな応用操作をしたいとき**

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作

本機の共通設定操作を表形式で説明しています。



共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

こんなときは

動作がおかしいときの確認や対応の方法などを説明しています。

よくある疑問や事例を記載しています。

操作にあたってのご注意

- 本書は、特にことわりがない限り、本機を開いた状態（オープンポジション：☞P.1-2）で、待受画面（☞P.1-6）からの操作を中心に説明しています。

目次／付属品 P.vi

本書の構成 i
機能の探しかた ii
本書の見かた iv
目次／付属品 vi
安全上のご注意 viii
Safety Precautions xix

1 準備／基礎知識

各部の名称 1-2
電池パックの充電 1-4
電源On／Off 1-6
画面とマークの見かた 1-7
機能呼び出し 1-12
マナーについて 1-17
暗証番号 1-18
その他の基礎知識 1-20
ダブルナンバー 1-21
便利な機能 1-24

2 共通操作

共通操作 2-2
文字サイズ 2-3
壁紙 2-4
きせかえアレンジ 2-5
音・バイブ・ライト 2-6
文字入力 2-7
ユーザー辞書 2-13
スマートリンク辞書 2-14
検索 2-16
ちょこっとメモ 2-17
電話帳登録 2-18
電話帳利用 2-21
便利な機能 2-22
こんなときは 2-27

3 電話

電話 3-2
音声電話 3-3
TVコール 3-6
スピードダイヤル／楽ともリンク 3-7
通話情報確認 3-9
発着信制限 3-10
オプションサービス 3-12
便利な機能 3-14
こんなときは 3-22

4 メール

メール 4-2
メール送信 4-4
メール受信／確認 4-12
メール管理／利用 4-15
チャットフォルダ 4-18
メールグループ 4-19
PCメール 4-20
便利な機能 4-23
こんなときは 4-40

5 インターネット

インターネット 5-2
Yahoo!ケータイ 5-3
PCサイトブラウザ 5-5
画面操作 5-6
ブックマーク／画面メモ 5-8
RSSフィード 5-9
便利な機能 5-10
こんなときは 5-17

6 テレビ

デジタルTV 6-2
録画／再生 6-7
録画／視聴予約 6-9
便利な機能 6-10
こんなときは 6-15

7 カメラ／静止画編集

カメラ 7-2
静止画撮影 7-4
動画撮影 7-5
画像レビュー 7-6
特殊撮影 7-7
静止画編集 7-8
静止画プリント 7-12
便利な機能 7-13
こんなときは 7-16

8 メディアプレイヤー／S!アプリ

メディアプレイヤー 8-2
音楽再生 8-4
動画再生 8-5
音楽／動画管理 8-6
S!アプリ 8-7
便利な機能 8-8
こんなときは 8-12

9 カレンダー／ツール

カレンダー 9-2
ツール 9-6
予定リスト 9-8
アラーム 9-10
お目覚めTV 9-12
リラクゼーションタイム 9-14
撮って家計簿 9-15
電卓 9-19
マネー積算メモ 9-20
見せかけコール 9-21
ストップウォッチ 9-22
キッチンタイマー 9-23
世界時計 9-24
時報 9-25
メモ帳 9-26
アスキーアート 9-27
ボイスレコーダー 9-28
バーコード読み取り 9-29
QRコード作成 9-30
名刺読み取り 9-31
文字読み取り 9-32
ラクラク瞬漢ルーペ 9-33
便利な機能 9-34
こんなときは 9-45

10 ニュース／エンタメ

ニュース／エンタメ 10-2
S!情報チャンネル 10-3
S!速報ニュース 10-4
緊急速報メール 10-5
コンテンツ入手 10-6
電子書籍 10-7
ブログツール 10-8
便利な機能 10-10
こんなときは 10-13

11 セキュリティ

セキュリティ 11-2
使用禁止／制限 11-3
ケータイ機能制御 11-5
便利な機能 11-6

12 データフォルダ／メモリカード

データフォルダ 12-2
メモリカード 12-5
便利な機能 12-8
こんなときは 12-10

13 通信／バックアップ

通信／バックアップ 13-2
赤外線通信 13-3
パソコン接続 13-6
バックアップ 13-7
S!電話帳バックアップ 13-10
便利な機能 13-13
こんなときは 13-14

14 共通設定

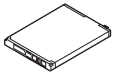
日時設定 14-2
表示／照明設定 14-3
着信設定 14-5
音設定 14-6
通信設定 14-7
初期化 14-9

15 資料／付録

USIMカード 15-2
電池パック 15-5
ソフトウェア更新 15-6
故障かな？と思ったら 15-7
文字入力用ボタン 15-9
ポケベルコード 15-11
区点コード 15-12
お天気アイコン 15-18
仕様 15-19
メニュー一覧 15-25
索引 15-32
保証書／アフターサービス 15-39
お問い合わせ先 15-40

付属品

■電池パック（SHBCU1）



- 付属品／オプション品については、お問い合わせ先（☞P.15-40）までご連絡ください。
- 充電器／イヤホンマイクは、ソフトバンクが指定したオプション品を使用してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指示
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
分解禁止
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。
水濡れ禁止
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
禁止
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
禁止
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
禁止
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。
また、充電もしないでください。
指示
ガスに引火する恐れがあります。
プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
禁止
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
指示
1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
禁止
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

禁止

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

電池パックの取り扱いについて

⚠ 危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

指示

⚠ 警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

指示

⚠ 注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。（使用材料：☞P.15-19）

指示

本機の取り扱いについて

⚠ 警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。
禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など
指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社(の乗務員)の指示に従い適切にご使用ください。
指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。
指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。
指示

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
禁止

⚠ 注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料:☞P.15-19)
指示

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
禁止

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。
本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
禁止

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
指示

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。
禁止

本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。
指示

デジタルテレビを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。
指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。
指示

充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠ 警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。
禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
- ACアダプタ（オプション品）：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
- シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

また、海外旅行用として、市販されている「**変圧器**」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
禁止

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。
電源プラグを抜く

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。
指示

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。
電源プラグを抜く

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。
火災の原因となります。
指示

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災などの原因となります。
禁止

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。
指示

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。
濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。
禁止

⚠ 注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。
電源プラグを抜く

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。
指示

ACアダプタ（オプション品）をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。
禁止

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「**医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針**」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「**電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書**」（平成13年3月「**社団法人電波産業会**」）の内容を参考にしたものです。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障、修理などにより本機／メモリカードに登録したデータ(電話帳・音楽・静止画・動画など)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やデジタルテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・デジタルテレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やデジタルテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- メモリカードをご利用になるときは、あらかじめメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- **傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
  米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

お取り扱いについて

- 本機は防水仕様ではありません。水に濡らしたり、湿度の高い場所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手に持って歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因となることがあります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度:5℃～35℃、湿度:35%～85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 外部接続端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。
- メモリカードの使用中は、本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

機能制限について

本機は、USIMカードが取り付けられていない状態では使用できません。

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。

著作権等について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

動画の撮影／再生の技術には「**MPEG-4**」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.
本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「**AVCビデオ**」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.com をご参照ください。

本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。
RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
Powered by JBlend™.
Copyright 1997-2010
Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

NetFront®
本製品はインターネットブラウザおよびSMILプレーヤとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront SMIL Playerを搭載しています。
©2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

お目覚めTV、ベールビュー、VeilView、スマートリンク、アニメビュー、見せかけコール、楽ともリンク、アークリッジキー、くっきりトーンはシャープ株式会社の登録商標または商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

BookSurfingは株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

「**ジーニアスモバイル英和辞典**」「**ジーニアスモバイル和英辞典**」「**明鏡モバイル国語辞典**」
©2005-2008 Taishukan

- 「**ジーニアス英和辞典MX.net**」「**ジーニアス和英辞典MX.net**」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「**明鏡国語辞典MX.net**」
  ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009
- 「**イミダス百科**」©集英社
- 「**日本大百科全書（ニッポニカ）（ニッポニカ・プラスを含む）**」「**デジタル大辞泉**」「**プログレッシブ英和中辞典**」「**プログレッシブ和英中辞典**」©小学館
- 「**Amazon.co.jp**」は、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- 「**ホットペッパー グルメ**」©RECRUIT
- 「**家庭医学大全科**」
  ©Houken 2010
- 「**医者からもらった薬**」
  ©Shigeru Kimura/Iyakuseidokenkyukai 2011
- 「**Yahoo!知恵袋**」
  ©Yahoo Japan

- 「**らくらく瞬漢ルーペ®**」は株式会社アイエスピーの登録商標です。
- 「**撮って家計簿™**」は株式会社アイエスピーの商標です。

「**キャラタイム**」および「**ケータイ係長®**」はプライムワークス株式会社の登録商標です。

「**待ちうた®**」はKDDI株式会社の登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「**Yahoo!**」および「**Yahoo!**」「**Y!**」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

S!アプリ、S!速報ニュース、S!情報チャンネル、S!電話帳バックアップ、お天気アイコン、ダブルナンバー、きせかえアレンジ、TVコール、インプットメモリ、PCメール、PCサイトブラウザ、マルチジョブ、デコレメール、S!メール、フィーリングメール、写メール、ムービー写メール、安心遠隔ロック、楽デコはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【105SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【105SH】のSARは0.700W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.496W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【105SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.ctia.org（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機【105SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.980W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

* 一般的な携帯電話の身体への装着法については、「**ソフトバンクのボディSARポリシー**」をご参照ください。

Safety Precautions

Read Safety Precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels show degree of risk from improper use; learn them before reading on:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury
⚠ CAUTION	Risk of minor injury or damage to property

These symbols signify prohibited/compulsory actions; learn them before reading on:

Prohibited	Prohibited actions
Do Not Disassemble	Disassembly prohibited
Avoid Liquids Or Moisture	Exposure to liquids prohibited
Do Not Use Wet Hands	Use with wet hands prohibited

Compulsory	Compulsory actions
Disconnect Power Source	Unplug from outlet

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

⚠ DANGER

Use specified Battery and Charger only.
Non-specified equipment use may cause Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Compulsory

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.
May cause fire, injury, electric shock or malfunction. Battery may leak, overheat, burst or ignite.
Modifying handsets is prohibited by the Radio Law and subject to a penalty.

Do Not Disassemble

Do not expose handset or related hardware to liquids.
Do not let exposed handset/related hardware remain wet; do not charge wet Battery. May cause overheating, electric shock, fire, injury or malfunction. Use only as directed.

Avoid Liquids Or Moisture

Do not charge Battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (fire, heat sources, direct sunlight, inside vehicles, etc.). Do not charge, leave, use, or be carrying handset or related hardware in a warm place or where heat collects, such as under a kotatsu (blanketed warming table) or electric blanket, next to a kairo (worn warming patch), etc.
May cause warping/malfunction; Battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.

Prohibited

Do not force Battery/Charger into handset. Confirm terminal/ connector orientation; retry.
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Prohibited

⚠ WARNING

Do not place handset, Battery or Charger in/on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.
Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.

Prohibited

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.
Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/ explosion.

Compulsory

Do not drop/throw or apply strong impacts.
Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.

Prohibited

For unusual sound/odor, smoke or other abnormality:
Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect Charger, power off, then remove Battery, being careful not to burn or injure yourself.

Compulsory

Keep liquid (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metal strip/jewelry, etc.) away from External Device Port.
May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.

Prohibited

⚠ CAUTION

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.
Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; take added care when Vibration is set or while charging.

Prohibited

Keep handset and related hardware away from infants and pets.
Infants and pets may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.

Compulsory

For use of handset/related hardware by child, explain instructions and supervise use.
Misuse may cause injury, etc.

Compulsory

Battery

⚠ DANGER

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of Battery accordingly.

Symbol on Label	Battery Type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of Battery in fire.
Battery may leak, burst, ignite, etc.

Prohibited

Do not damage (nail, hammer, stomp, etc.) Battery or subject it to strong impacts.
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Prohibited

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store Battery with conductive material (pencil lead, metal strip/jewelry, etc.).
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Prohibited

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

Compulsory

⚠ WARNING

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.
May cause skin damage.

Compulsory

If Battery does not charge properly, stop trying.
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Compulsory

For abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove Battery, being careful not to burn or injure yourself. Avoid fire sources.
Continued use may cause Battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.

Compulsory

Do not let your pet bite Battery; if this occurs, do not use that Battery.
Pet bites may cause Battery to leak, overheat, burst or ignite. May cause handset/related hardware to malfunction, or fire may result.

Compulsory

⚠ CAUTION

Do not dispose of an exhausted Battery with ordinary refuse.
Tape over battery terminals before disposal. Take Battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Prohibited

For any skin irritation associated with use, discontinue use and consult a doctor.
Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Compulsory

Handset

⚠ WARNING

Do not use handset while driving or cycling.
Accidents may result.
Phone use while driving or cycling is prohibited by law and subject to a penalty; park legally beforehand.
Prohibited

Power off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.
May cause electronic malfunctions, etc.
Take added care near these devices: Hearing aids, implanted pacemakers/ defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.
Compulsory

Power off before boarding aircraft to avoid possible radio wave interference with aircraft operations.
If mobile phone use is allowed on board, follow airline or cabin crew instructions regarding handset use.
Compulsory

Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.
May cause heart damage.
Compulsory

If thunder is audible while outdoors, power off; find cover.
There is a risk of lightning strike or electric shock.
Compulsory

Do not look into Infrared Port during infrared transmissions.
Eyesight may be affected.
Prohibited

⚠ CAUTION

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.
Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.
Prohibited

For any skin irritation associated with use, discontinue use and consult a doctor.
Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.
Compulsory

Keep handset away from magnetic cards, etc.
Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.
Prohibited

Do not swing handset by Strap.
May harm self or others; Strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.
Prohibited

Handset may become hot while in use, especially at high temperature.
Prolonged contact with skin may cause burn injuries.
Compulsory

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.
Excessive volume may damage ears or hearing.
Prohibited

Keep fingers, Straps, etc. outside when opening/closing handset.
May cause injury, breakage, etc.
Compulsory

Watch TV from a distance in good light.
Watching in poor light or too close may affect eyesight.
Compulsory

Moderate handset Volume when using Headphones.
Excessive volume may damage ears or hearing.
Compulsory

Charger (Sold Separately)

⚠ WARNING

Do not cover/wrap Charger while charging.
Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.

Prohibited

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.
- AC Charger: AC 100 V-240 V Input
- In-Car Charger (use in negative earth vehicles only): DC 12 V/24 V Input

Do not use power adapters.
Transformer use may cause fire, electric shock or malfunction.

Prohibited

Unplug Charger for periods of disuse; grasp plug to disconnect.
May cause electric shock, fire or malfunction.

Disconnect Power Source

Use only the specified fuse for In-Car Charger.
Non-specified fuse may cause fire or malfunction. See In-Car Charger manual for details.

Compulsory

If liquid (water, pet urine, etc.) gets inside, grasp plug to disconnect it immediately.
May cause electric shock, smoke or fire.

Disconnect Power Source

To remove debris, grasp plug to disconnect Charger, then clean with dry cloth.
Fire may result.

Compulsory

Do not use In-Car Charger in positive earth vehicles.
May cause fire, etc. Use in negative earth vehicles only.

Prohibited

Plug Charger firmly into the outlet, keeping plug and terminals away from conductive material (pencil lead, metal strip/jewelry, etc.).
May cause electric shock, short circuit, fire, etc.

Compulsory

Do not touch plug with wet hands.
May cause electric shock, malfunction, etc.

Do Not Use Wet Hands

Do not touch Charger if thunder is audible.
May cause electric shock, etc.

Prohibited

⚠ CAUTION

Grasp plug to disconnect Charger before cleaning.
May cause electric shock, etc.

Disconnect Power Source

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger.
Pulling plug by cord may damage cord; may cause electric shock, fire, etc.

Compulsory

Do not subject AC Charger to strong impacts while it is plugged in.
May cause malfunction or injury.

Prohibited

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "**Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment**" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "**Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc.**" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ WARNING

Persons with implanted pacemaker/ defibrillator should keep handset more than 22 cm away.
Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.

Compulsory

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.
Radio waves may interfere with electronic medical equipment.

Compulsory

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Compulsory

Power off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near.
Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Compulsory

General Notes

General Use

- SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset/Memory Card files or settings. Keep separate copies of contacts, etc.
- Handset transmissions/TV signal reception may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- For proper use of Memory Card, read the manual beforehand.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.
- Beware of harmful/malicious websites. Take added care when posting personal information, etc.
- An export license may be required to carry handset into other countries if it is to be used by or transferred to another person. However, no such license is required when you take handset abroad for personal use on a vacation or business trip and then bring it back.
  Export control regulations in the United States provide that an export license granted by the US government is required to carry handset into Cuba, Iran, North Korea, Sudan or Syria.

Handset & Hardware Care

- Handset is not water proof. Avoid moisture.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in damp places (restroom, bath/shower, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may gets inside handset causing malfunction.
- If handset is left with no Battery inserted or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank Mobile is not liable for any resulting damages.
- Use handset within 5ºC - 35ºC and 35% - 85% humidity.
- Avoid extreme temperature or direct sunlight.
- Handset/Battery may become warm during operation or while charging. This is normal.
- Warranty does not cover malfunctions resulting from misuse.
- Exposing Lens to direct sunlight may damage Color Filter and affect image color.
- Battery may not charge properly if Port/terminals are obstructed by dust, etc. Clean with dry cloth, cotton swab, etc.
- Clean handset with soft dry cloth. Alcohol/solvent use may fade color/print.
- Avoid scratching Display.
- Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.
  - Do not sit on handset in back pants pocket.
  - Do not place heavy objects on handset inside handbags, packs, etc.
- Connect only specified products to External Device Port. Other devices may malfunction or cause damage.
- Always power off before removing Battery. If Battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.
- Do not power off while using Memory Card; may result in data loss or malfunction.
- When walking outside, moderate handset Volume to avoid accidents.
- Avoid covering Speaker while using handset.

Function Usage Requirement

USIM Card must be inserted to use handset.

Camera

- Mind etiquette when using Camera.
- Test Camera before capturing/recording special moments.
- Do not use Camera in places where shooting is prohibited.
- Captured images may not be used/ transferred without copyright holder (photographer, etc.) permission, except for personal use.

In-Call/Transmission Caution

During calls/transmissions, calling/transmission charges/fees apply even if other functions or operations are simultaneously in use.

Portrait Rights

Portrait rights protect individuals' right to refuse to be photographed or to refuse unauthorized publication/use of their photographs. Portrait rights consist of the right to privacy, which is applicable to all persons, and the right to publicity, which protects the interests of celebrities. Therefore, photographing others including celebrities and publicizing/distributing their photographs without permission is illegal; use Camera responsively.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without copyright holder permission may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with Camera.

The software contained in handset is copyrighted material; copyright, moral right and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile or reverse-engineer the software; do not separate it from hardware in whole or part.

Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 105SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address: http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Battery Cautions

Use specified Battery or Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted Battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take Battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge Battery in ambient temperature 5°C - 35°C; Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.
As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*.
Highest SAR value:

Model	At the Ear**	On the Body
105SH	0.789 W/kg	0.980 W/kg

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Please see Electromagnetic Safety on P.xxvi for important notes regarding body-worn operation.
**Measured in accordance with international guidelines for testing.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 27.0 mV.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
105SH	APYHRO00166	0.358 W/kg	0.496 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 15 mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 15 mm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/fccid under the Display Grant section after searching the corresponding FCC ID (see preceding table).
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org.